

## 【活用にあって】

「雲や霧のでき方」を学んだ子どもたちには興味をもって読める記事でしょう。

月に1度の頻度で見られるという記述があるので、「自分の目で確かめてみよう」と、観察意欲を抱く子も出てくるのではないのでしょうか。「幻日」という現象に関する記事ですが、「幻月」という現象もあるので、「発展」に調べ学習を設定してみました。

### 解答例

問1： 太陽が低い位置にある明け方や夕方、上空に集まった氷の粒に光が屈折して起きる現象

問2： 3つ

問3： 空気中の水蒸気

発展： あります。月の両側に1個ずつ、別に月があるように見えるもの。空中の氷の結晶により、光が屈折してできる暈(かさ)の一種。